

## 大規模グラフィックスに向けて：自然の表現とレーザグラフィックス

千葉 則茂

岩手大学工学部情報システム工学科

概要： スケールの大きな自然景観の効率的で画像品質の高い表現には、LOD (Level Of Detail) 可能なモデリング技術とアンタイエイリアシング可能なレンダリング技術が必要とされる。また、スケールの大きな自然現象のアニメーションには、現在主流となっている物理シミュレーションに代わる格段に効率的なアニメーション技術の開発が期待される。一方、スケールの大きな投影が可能で、ラスタプロジェクタとは異なる趣のあるレーザプロジェクタには、それ固有の種々の特性があり、レーザグラフィックス技術の高度化に関する研究が期待されるが、これまでほとんど取り組まれてきていない。本講演では、これらの課題と、課題解決に有効であると考えているアプローチについて、さらにこれまでに試みた研究開発について解説する。